

鳥取県政 11

小中学生向けに鳥取県の取組を紹介しています。

鳥取和牛を知ろう!

牛の名は

平成26年に全国の和牛関係者が驚く2頭の牛が誕生したよ。牛の名前は「白鵬85の3」「百合白清2」っていうんだ。上質な牛肉になる能力がすごく高く、これまでの全国平均値をはるかに超えるものだったんだよ。

このため、全国から多くの和牛生産者が「白鵬85の3」「百合白清2」の子牛を買い求めにくるようになったんだ。「気高」以降、和牛の改良が思うように入らず苦労したけど、2頭により鳥取県の子牛市場は今では全国トップクラスの高値が付く人気の市場へと急成長したんだ。



白鵬85の3



ゆりしらきよ 百合白清2

他県に負けない鳥取県の和牛

今年9月に、第11回全国和牛能力共進会が宮城県で開催されるよ。鳥取県からは「白鵬85の3」「百合白清2」の子を代表牛として出品する予定なんだ。

ブランド牛肉といえば、松阪牛や神戸ビーフがよく挙げられるけど、鳥取和牛も負けてないよ！
みんなも鳥取和牛を食べて応援してね！



鳥取和牛のステーキ



鳥取和牛のすき焼き

牛が肉になるまで

みんながおいしい鳥取和牛を食べられるまでに、牛が生まれてから約2年半かかるんだよ。

雌牛(お母さん牛)を育てている繁殖農家で生まれた子牛は、農家で大切に育てられ、8、9ヵ月齢になると子牛市場と呼ばれる場所で販売されるんだよ。生まれたばかりの子牛の体重は30kgくらいだけど、子牛市場で販売される時には約280kgにもなってるんだって。

子牛は、子牛市場でおいしい肉をつくることを専門とする肥育農家に引き取られて、約20ヵ月間、トウモロコシや麦などをたくさん食べて、食肉センターに出荷されるよ。



鳥取県と牛



鳥取県生まれの「気高」

鳥取県は、実は、昔からとても和牛と関わりが深い県なんだよ。大山では、江戸時代から昭和初期にかけて、「大山牛馬市」という日本最大の牛の売買市場が開かれ、たくさんの牛と馬でにぎわっていたんだって。

鳥取県生まれの「気高」という牛は、昭和41年の第1回全国和牛能力共進会(※)で1等賞を獲得して、全国の和牛の改良に大きく貢献したんだよ。「気高」は今でも和牛の関係者から伝説の牛として語り継がれているんだって。

(※)5年に1度開催される和牛の全国大会。全国の優秀な和牛を集めて、体型や肉の品質を競うんだ。「全共」と呼ばれているよ。